

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年8月9日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約6万~7万人** (CSIS2月27日)

: **死者約20万8,000人** (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

: **死傷者約18万人** (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人** (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: **死傷者推定10万人以上** (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者9,369人以上、負傷者1万6,646人以上** (UNOCHA7月31日)

- 「ウ」国防次官は、「**パフムート、クピャンスク、リマン**方面で激戦が継続しており、「ウ」軍が徐々に前進しているものの、**地雷原と敵の激しい攻撃により攻勢が難航**」と発言(8月7日)
- ゼレンスキー大統領は、**反転攻勢が、望まれているよりも遅く進捗**している一方、「ウ」軍部隊が前進し続けているとし、**主導権は「ウ」側**にあると発言(8月7日)

- 「ウ」空軍報道官は、2022年2月24日以来、「ウ」軍防空部隊が350機の固定翼・回転翼機、1,200発の巡航ミサイル、13発の極超音速ミサイル「キンジャル」、24発の弾道ミサイルを含む、**計3,500以上の航空目標を迎撃・破壊**したと発表(8月6日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」軍防空部隊がこれまでに2,000以上の露軍無人機を迎撃・破壊し、「ウ」軍パイロットの活動回数は2022年2月24日以来**14,000ソーティ**に上ると発表(8月6日)

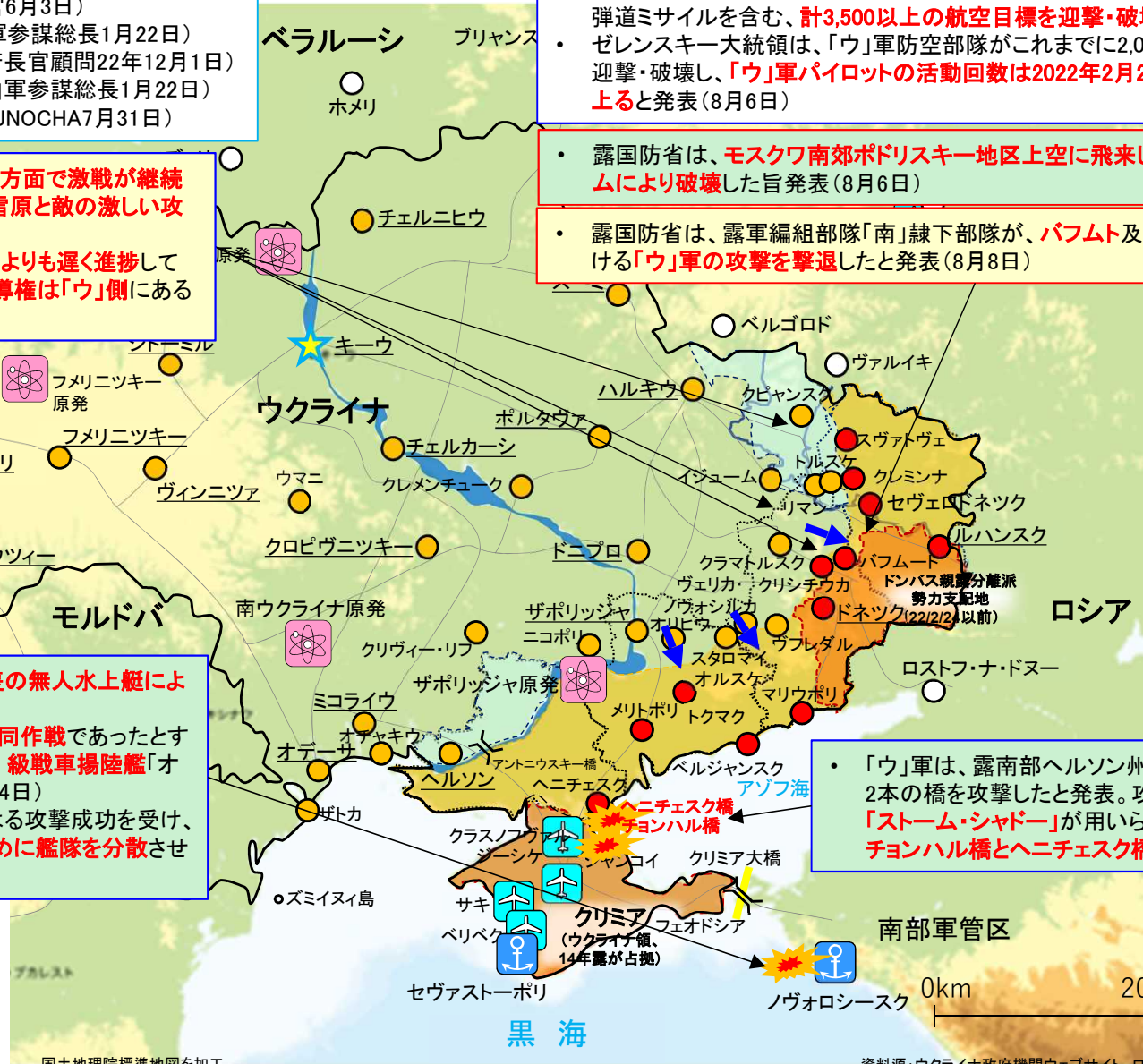
- 露国防省は、**モスクワ南郊ポドリスク**地区上空に飛来した無人機を防空システムにより破壊した旨発表(8月6日)

- 露国防省は、露軍編組部隊「南」隷下部隊が、**パフムト及びクリンチウカ近郊**における「ウ」軍の攻撃を撃退したと発表(8月8日)

- 露国防省は、**ノヴォロシースク海軍基地**に対する**2隻の無人水上艇による攻撃**があったと発表(8月4日)
- 「ウ」情報筋は、同攻撃が「ウ」海軍及び保安庁の**共同作戦**であったとともに、攻撃の結果、**北洋艦隊所属のロブチャ I 級戦車揚陸艦「オレネゴルスキー・ゴルニャク」が損傷**した旨指摘(8月4日)
- 「ウ」軍南部作戦区報道官は、「ウ」水上無人艇による攻撃成功を受け、**黒海では露側の混乱が見受けられ、安全確保のために艦隊を分散**させている模様」と指摘(8月8日)

- 「ウ」軍は、露南部ヘルソン州とクリミア半島を結ぶ**2本の橋を攻撃**したと発表。攻撃には**巡航ミサイル「ストーム・シャドー」**が用いられたとされ、同攻撃の結果、**チョンハル橋とヘニチェスク橋が損傷**(8月6日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等